

## 株主メモ

|                          |                                                                                                                                                                    |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                     | 毎年11月1日から翌年10月31日まで                                                                                                                                                |
| 定時株主総会                   | 毎年1月                                                                                                                                                               |
| 基準日                      | 定時株主総会 毎年10月31日<br>期末配当 毎年10月31日<br>中間配当 毎年4月30日<br>その他必要があるときは、予め公告をする一定の日                                                                                        |
| 株主名簿管理人及び<br>特別口座の口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社                                                                                                                                                       |
| 株主名簿管理人<br>事務取扱場所        | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                                                             |
| 郵便物送付先<br>(電話照会先)        | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-782-031(フリーダイヤル)<br>受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)                                                            |
| 単元株式数                    | 100株                                                                                                                                                               |
| 上場証券取引所                  | 東京証券取引所プライム市場                                                                                                                                                      |
| 公告方法                     | 電子公告により、当社ホームページ( <a href="https://www.senden.co.jp/">https://www.senden.co.jp/</a> )に掲載しております。ただし、事故<br>その他やむを得ない事由によって電子公告による公<br>告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主優待制度                   | 毎年10月末日を基準日として、<br>1単元(100株)以上を1年未満保有の株主様に「オリジナルQUOカード(1,000円分)」を年1回贈呈、<br>1単元(100株)以上を1年以上継続保有の株主様に「オリジナルQUOカード(2,000円分)」を年1回贈呈。                                  |

### ■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■ 「配当金計算書」について

配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封しております。

**UD FONT** 見やすいユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。



WIRING THE TECHNO-SOCIETY

## 第75期 株主通信

2023年11月1日から2024年10月31日まで

泉州電業株式会社

証券コード 9824

## Q 当期の業績についてご説明願います。

A 株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第75期(2023年11月1日から2024年10月31日まで)の業績は、売上高は1,361億円(前期比9.0%増)、営業利益は103億円(前期比23.7%増)、経常利益は107億円(前期比22.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は75億円(前期比28.0%増)と、3期連続で過去最高の売上高及び各利益を更新することができました。

年初に一時的な電線品不足が発生いたしましたが、国内銅建値が前期比14%上昇したこと及び国内の民間設備投資が好調に推移したことが主な要因です。

大阪・関西万博や半導体新工場の建設、データセンターの新設、再生可能エネルギー設備の建設などが特に好調でした。一方、半導体製造装置、工作機械向けはまだ本格回復には至りませんでした。順次回復に向かうものと思われま

## Q 来期の見通しについてご説明願います。

A 2025年10月期に入っても良い状況が続いております。

電線品不足についても高圧ケーブルを除いては正常に戻っ

ており、国内銅建値も年度ベースで高値推移をしていることから売上、利益ともに好調なスタートとなっております。

新型コロナウイルス感染症の収束によって民間設備投資が回復に向かい、新工場・新社屋及び再開発案件など、建設先物案件が更に増加する見込みです。半導体製造装置、工作機械向けの直需分野も、春先には在庫調整が終了し、回復に向かうものと思われま

す。それらに対応できるよう、2025年4月に当社名古屋FAセンターを愛知県稲沢市に開設いたします。また、海外については2025年1月にインドで開催されたインド工作機械展に出展いたしました。

これから成長・発展する市場には今後も積極的に対応してまいりたいと考えております。



代表取締役社長 西村元秀

## Q 中期経営計画についてご説明願います。

A 当社グループは2024年12月に、2025年10月期から2027年10月期までの3か年を対象とした「泉州電業グループ中期経営計画」を策定いたしました。

最終年度に連結ベースで売上高1,600億円、経常利益130億円を目標としております。

同時にROE(株主資本利益率)15%以上、配当性向35%以上、株主総還元率50%以上、PBR(株価純資産倍率)2.0倍以上を目標として設定いたしました。

これらは東京証券取引所が求める「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」として、コーポレート・ガバナンス報告書並びにこれから発行する統合報告書にも記載しております。

## Q 株主還元策についてご説明願います。

A 当期の配当金につきましては、2024年6月4日に公表いたしました配当予想のとおりに中間配当金65円、期末配当金65円の年間130円とし、11年連続の増配とさせていただきます。これにより当期の配当性向は30.1%となります。

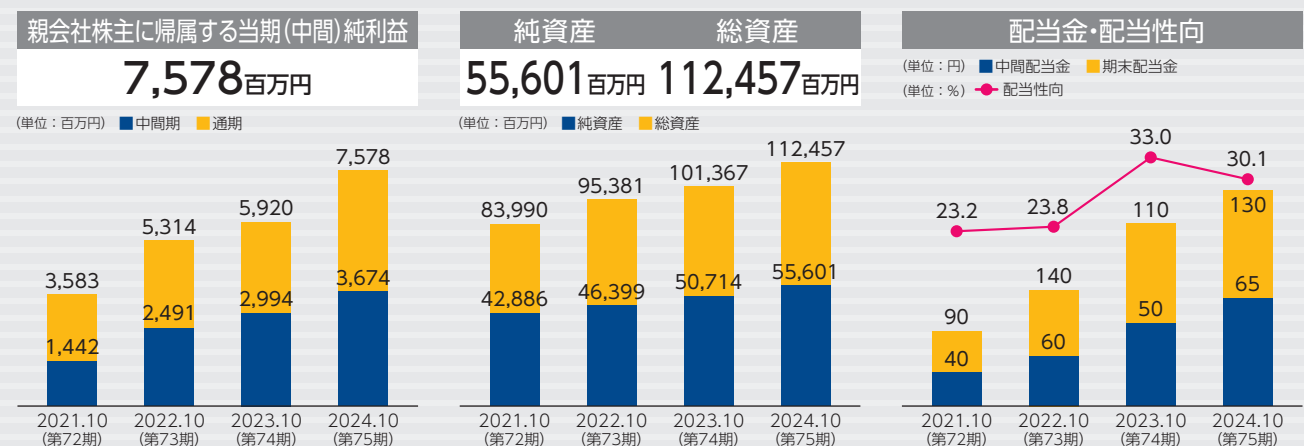
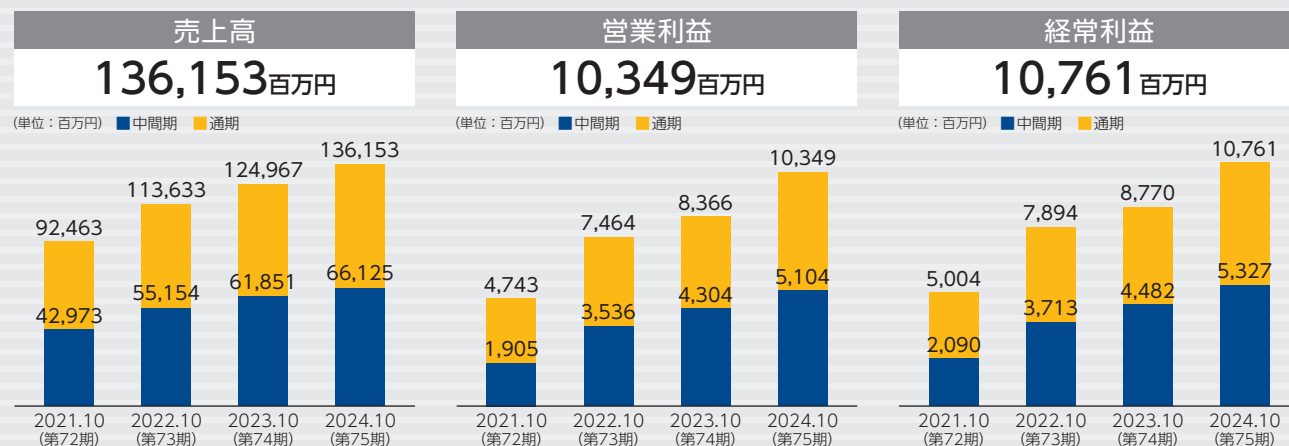
また、株主還元の充実を図るため、2025年4月30日までに

取得価額5億円、取得総数10万株を上限とした自己株式の取得を公表しております。引き続き株主還元の充実に努めてまいります。

そして、中期経営計画並びに「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を進めることで企業価値の更なる向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト(連結)



(注)当社は2022年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2022年10月期(第73期)以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。



## 経営理念

新しい価値を創造して 能力を発揮し  
社業の発展に努め 社会に貢献するとともに  
株主に報い 社員の福利厚生を図る

## 事業内容

泉州電業は、電線総合商社として電線を中心に、多彩な領域で事業を展開しています。

当社は、5万種類に及び取り扱いアイテムを、工事、建設、機械設備、自動車・液晶・半導体製造設備等、幅広い用途に応じて提供し、その信頼と実績で約3,700社のユーザーから高い評価をいただいております。

当社の強みは、「ジャスト・イン・タイム体制」、「オリジナル商品の開発」、「ケーブルアッセンブリ」の3つのビジネスモデルの遂行による高付加価値サービス、高利益体質の構築にあります。

全国18か所に営業拠点を置き、ユーザーが欲する時に豊富なストックの中から納品する「ジャスト・イン・タイム体

制」によって、当社は業界内トップサプライヤーとしての体制を確立しております。

また、自動車・液晶・半導体製造設備などの工場向けに独自のFA用電線を電線メーカーと共同開発し、当社「オリジナル商品」としてラインアップすることで、積極的に市場のニーズに 대응しております。

さらに、ユーザーの要望・仕様に合わせて電線端末を加工する「ケーブルアッセンブリ」サービスを展開し、「多品種・短納期・小ロット」の加工部品ニーズにもフレキシブルに対応する技術力は、高い信頼性の源となっております。



## ESG経営及びSDGsへの取り組み

当社はESG経営及びSDGsに積極的に取り組み、  
サステナブルな社会貢献を通じて、企業価値の向上に努めております。

| マテリアリティ(重要課題) |                                                        | 関連するSDGs項目                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                            | TOPICS |
|---------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| E             | 環境保全                                                   | CO <sub>2</sub> 排出量削減<br>気候変動への対応<br>環境法規制の遵守                                                      | <div><div>7<br/>2024年4月～6月<br/>「ESGターゲット」に<br/>取り組む</div><div>12<br/>2024年<br/>「ESG責任」<br/>を推進</div><div>13<br/>気候変動に<br/>適応化対策を<br/>推進</div></div> <div><div>14<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>15<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div></div>                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"><li>●2024年1月<br/>全拠点で就業時間内の禁煙開始<br/>能登半島地震 災害義援金の寄付<br/>TCFD提言に基づく情報開示(戦略)<br/>コーポレート・ガバナンス報告書</li></ul>                                                                                 |        |
| S             | 人権の尊重と配慮<br>働きがいのある職場環境<br>の整備<br>安定的な商品供給と<br>サービスの供給 | 情報セキュリティ強化<br>品質管理体制の強化<br>取引先・従業員との<br>エンゲージメント向上<br>健康経営の推進<br>安全衛生の充実<br>ダイバーシティの推進<br>福利厚生への充実 | <div><div>1<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>3<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>5<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div></div> <div><div>8<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>9<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>10<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div></div> <div><div>11<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>16<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>17<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div></div> | <ul style="list-style-type: none"><li>●2024年2月<br/>「泉州電業グループ統合報告書<br/>2024」発刊</li><li>●2024年3月<br/>「健康経営優良法人2024」認定</li><li>●2024年5月<br/>「2023環境報告書」発刊<br/>コーポレート・ガバナンス報告書</li><li>●2024年12月<br/>コーポレート・ガバナンス報告書</li></ul> |        |
| G             | ガバナンスの強化                                               | コーポレート・ガバナンスの充実<br>コンプライアンスの徹底<br>リスク管理                                                            | <div><div>11<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div><div>16<br/>2024年<br/>「ESG責任」を<br/>推進</div></div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>●2025年1月<br/>コーポレート・ガバナンス報告書</li></ul>                                                                                                                                               |        |

## CO<sub>2</sub>排出量削減目標

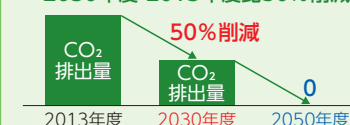
当社はTCFD提言に基づく情報開示として、CO<sub>2</sub>排出量削減の中長期目標を設定し、目標達成に向けて取り組んでおります。

☐長期目標

2050年度 カーボンニュートラル

☐ 中期目標

2030年度 2013年度比50%削減



2025年日本国際博覧会  
「TEAM EXPOパビリオン」へ展示

当社アグリ事業担当は農業従事者へ、ITツールを使用した育苗等の提案を通じて様々なニーズに対応し、CO<sub>2</sub>排出量の削減、電力や水資源の効率化、課題の解決や収益の向上を実現しております。

これらの取り組みが、「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジとして登録されており、2025年6月6日(金)～8日(日)の3日間、プログラム参加者として2025年日本国際博覧会「TEAM EXPOパビリオン」へ展示することになりました。

ご来場の際はぜひこの機会に、展示ブースへお立ち寄りくださいますよう、お願いいたします。

【共創チャレンジ名】

新しい未来スマート農業で、地球環境にも人にも優しい農業を！

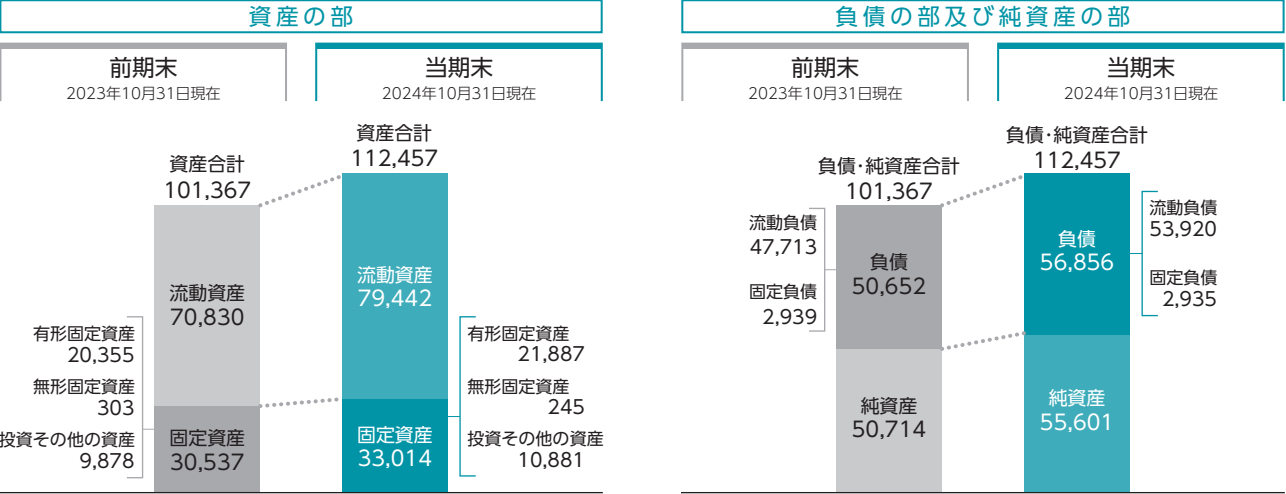
<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/C10134>

**2024年度育児休業  
取得率100%達成**

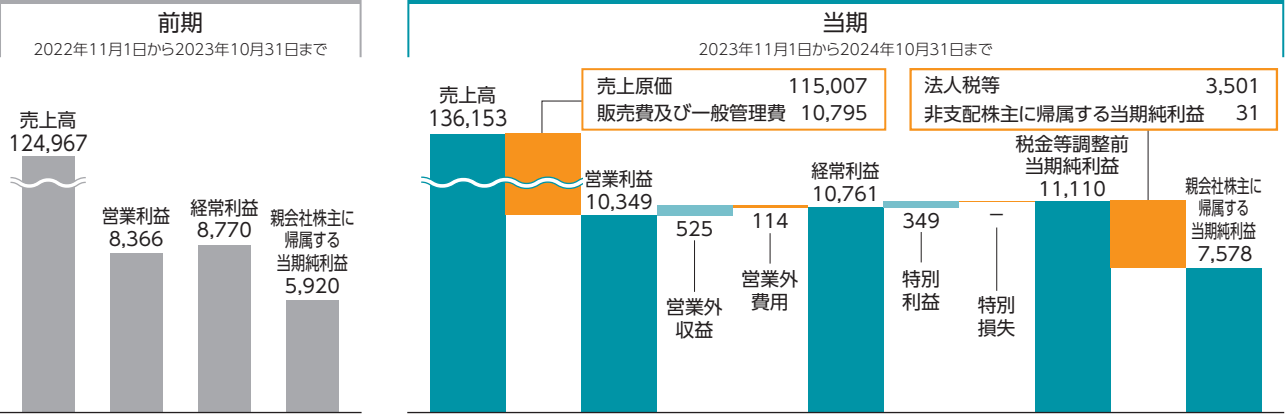
当社はこの度男女共に育児休業取得率100%を達成いたしました。育児休業取得以外に、従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、多様な労働条件の整備などに取り組むための「一般事業主行動計画」を定め、推進しております。

今後も男女問わず働きやすい職場を目指してまいります。

連結貸借対照表(要旨) (単位：百万円)



連結損益計算書(要旨) (単位：百万円)



Point 1 資産・負債・総資産

売上債権、棚卸資産、有形固定資産及び仕入債務が増加したことなどにより、総資産が増加しました。

Point 2 純資産

利益の内部留保により利益剰余金が増加したことなどにより、純資産が増加しました。

Point 3 連結損益計算書

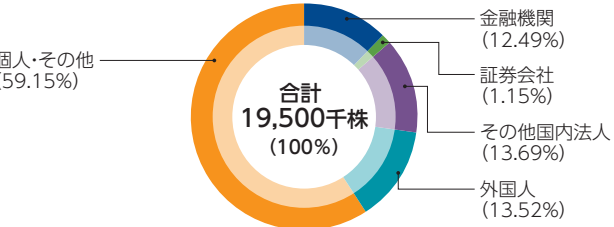
半導体製造装置向け及び工作機械向けで一部に需要の停滞があったものの、自動車向け及び建設・電販向けの売上が増加した結果、増収増益となりました。

株式の状況 (2024年10月31日現在)

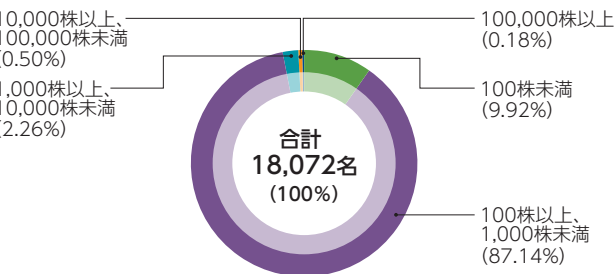
| 発行可能株式総数                                                                                        | 84,000,000株                        |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|---------|
| ▶ 発行済株式の総数                                                                                      | 19,500,000株<br>(自己株式2,058,223株含む。) |         |
| ▶ 株 主 数                                                                                         | 18,072名                            |         |
| ▶ 大株主(上位10名)                                                                                    |                                    |         |
| 株 主 名                                                                                           | 持株数(千株)                            | 持株比率(%) |
| 西 村 元 秀                                                                                         | 1,593                              | 9.13    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                                                         | 1,281                              | 7.34    |
| 西 村 陽 子                                                                                         | 948                                | 5.43    |
| S W C C 株 式 会 社                                                                                 | 792                                | 4.54    |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                                                                              | 689                                | 3.95    |
| ビービーエイチフォーフィデリティロープライズストック<br>ファンド(プリンシパルオールセクターサポートフォリオ)                                       | 637                                | 3.65    |
| 高 橋 京 子                                                                                         | 451                                | 2.58    |
| 泉州電業従業員持株会                                                                                      | 420                                | 2.41    |
| 泉州産業株式会社                                                                                        | 414                                | 2.37    |
| THE NOMURA TRUST AND BANKING CO.,<br>LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE<br>AGREEMENT MOTHER FUND | 370                                | 2.12    |

- (注) 1. 当社は自己株式2,058,223株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 2024年11月8日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、エフエムアール エルエルシーが2024年10月31日現在で1,728,700株(株券等保有割合8.87%)の株式を保有している旨が記載されておりますが、当社として当事業年度末現在における実質保有株式数の確認ができませんので、上記大株主には含めておりません。

▶ 所有者別株式数分布状況



▶ 所有株数別株主数分布状況



会社概要 (2024年10月31日現在)

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号        | 泉州電業株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 設 立        | 1949年11月18日                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 資 本 金      | 25億7,520万円                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 従 業 員 数    | 556名                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事 業 内 容    | 当社は、機器用電線、通信用電線、電力用ケーブル、汎用被覆線等の電線類及び電線に付帯する各種電設資材の販売並びに各種情報機器等の販売を行っております。                                                                                                                                                                                                     |
| ホームページアドレス | https://www.senden.co.jp/                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 本 社        | 大阪府吹田市南金田一丁目4番21号(〒564-0044)<br>電話 (06)6384-1101                                                                                                                                                                                                                               |
| 大 阪 本 店    | 大阪府吹田市南金田一丁目4番8号                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 支 店        | 札幌支店(北海道) 仙台支店(宮城県)<br>東京支店(東京都) 埼玉支店(埼玉県)<br>名古屋支店(愛知県) 北陸支店(石川県)<br>広島支店(広島県) 高松支店(香川県)<br>福岡支店(福岡県)                                                                                                                                                                         |
| 営 業 所      | 東京西営業所(東京都) 北関東特販営業所(栃木県)<br>豊橋営業所(愛知県) 高岡営業所(富山県)<br>大阪南営業所(大阪府) 京滋営業所(京都府)<br>沖縄物流センター(沖縄県)                                                                                                                                                                                  |
| 連 結 子 会 社  | 株式会社エステック<br>三光商事株式会社<br>エヌビーエス株式会社<br>アシ電機株式会社<br>太洋通信工業株式会社<br>株式会社北越電研<br>SENSHU ELECTRIC INTERNATIONAL CO.,LTD.<br>SENSHU ELECTRIC PHILIPPINES CORPORATION<br>SENSHU ELECTRIC VIETNAM CO.,LTD.<br>SENSHU ELECTRIC AMERICA,INC.<br>上海泉秀国际贸易有限公司<br>台湾泉秀有限公司<br>北越電研(上海)有限公司 |

役員 (2025年1月30日現在)

|                |         |
|----------------|---------|
| 代 表 取 締 役 社 長  | 西 村 元 秀 |
| 取 締 役 副 社 長    | 田 原 隆 男 |
| 専 務 取 締 役      | 成 田 和 人 |
| 専 務 取 締 役      | 宇 正 曜 一 |
| 常 務 取 締 役      | 西 村 元 修 |
| 取 締 役          | 島 岡 一 子 |
| 取 締 役          | 花 山 典 勇 |
| 取 締 役          | 福 山 崇 史 |
| 取 締 役          | 宗 岡 剛 博 |
| 取締役(常勤監査等委員)   | 近 藤 千 晶 |
| 取締役(監 査 等 委 員) | 山 條 博 通 |
| 取締役(監 査 等 委 員) | 森 脇 朗   |
| 取締役(監 査 等 委 員) | 森 本 千 晶 |

- (注) 1. 取締役宗岡 徹氏及び 同 近藤剛史氏並びに取締役(常勤監査等委員)山條博通氏、取締役(監査等委員) 森脇 朗氏及び 同 森本千晶氏は、社外取締役であります。
2. 当社は、取締役宗岡 徹氏及び 同 近藤剛史氏並びに取締役(常勤監査等委員)山條博通氏、取締役(監査等委員) 森脇 朗氏及び 同 森本千晶氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。